

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月3日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	京都府福知山市	代表者名	大橋 一夫
担当者部署	市長公室大学政策課	連絡先電話番号	0773-24-7039
担当者役職		担当者氏名	
住所	620-8501 京都府福知山市字内記13番地の1		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	会津若松市の大学との連携の構築までの流れやスマートシティを推進するための市役所組織内の体制を教示いただくことができたこと。 その中で、CODEforAIZUなどシビックテックの取り組みが大きな役割を果たしており、そのような場に職員が仕事だけでなくプライベートで参加していることで企業や大学との連携の素地ができていることが分かり、今後の福知山市と福知山公立大学の連携の方向性についてヒントを得ることができたため。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月25日	15時30分	17時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	福知山公立大学		最寄駅	福知山駅
	所在地	京都府福知山市字堀3370			
	最寄駅からの交通手段	市職員が公用車で送迎。			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員、大学教職員	人数 17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	福知山市では、2020年4月に福知山公立大学情報学部が開設し、産官学連携体制の構築を目指すために(仮称)スマートシティ戦略の策定に向けて取り組んでいる。しかし、産官学連携体制構築のための連携のノウハウが市、大学ともに乏しいため何から取り組むべきかが分からないこと。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市と大学との連携に必要なことを市職員、大学教職員で学び、(仮称)スマートシティ戦略の策定を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	会津若松市と会津大学との連携構築までの流れとその中で行われているCODEforAIZUなどシビックテックが果たす役割、会津若松市が行っているオープンデータの活用方法を説明いただき、市職員・大学教職員の疑問に答えていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	市の情報担当部局が会津大学内に移転したり、市の職員がCODE for AIZUなどシビックテックの取り組みの場に参加してデータを提供するなど会津若松市と会津大学の連携方法とその過程が分かった。また、シビックテックの取り組みに大学の教員や学生が参加するなど大学と地域との連携が分かり、今後の大学と地域における連携の参考となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	民間企業との連携事例が出てきたが、連携に至るまでの過程が分からなかったため、今回のアドバイスをきっかけに今後会津若松市に訪問するなどしてヒアリング調査を検討している。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事例紹介と関係機関や(仮称)スマートシティ戦略策定のための意見交換が主な内容であり、アンケートは実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	(仮称)スマートシティ戦略を策定、2020年度から情報学部教員による課題解決型PBLがスタートして、産官学連携によるIT技術を活用した産業振興等の地域創生を目指す。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年12月2日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	京都府福知山市	代表者名	大橋 一夫
担当者部署	市長公室大学政策課	連絡先電話番号	0773-24-7039
担当者役職	課長	担当者氏名	岸本範義
住所	620-8501 京都府福知山市字内記1 3番地の1		

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	会津若松市が実施している全住民の位置座標付き住民基本台帳を整備して、バス路線検討の説明資料としての活用や災害時の避難指示を出す時に活用するなど市役所内の情報化の具体的な取り組みを教示いただいたことによって、情報化による行政課題解決のイメージを福知山市の職員間で共有できたこと。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年11月26日	9時00分	12時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	福知山市役所		最寄駅	福知山駅
	所在地	京都府福知山市字内記1 3番地の1			
	最寄駅からの交通手段	市職員が公用車で送迎。			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 職員	人数 14 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	(仮称) スマートシティ戦略の策定にあたり、福知山市の内部で情報技術を活用した行政課題の解決イメージが浸透していないため、どのようなことから取り組むべきが分からない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	情報技術を活用した行政課題の解決を行っている会津若松市の事例を聴き、福知山市の内部で情報技術を活用した行政課題解決の事例を共有して、(仮称) スマートシティ戦略の策定を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	全住民の位置座標付き住民基本台帳の整備によって、バス路線検討や防災施策に活用している事例と全住民の位置座標付き住民基本台帳の整備をした背景と整備をするまでの課題についての紹介。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	全住民の位置座標付き住民基本台帳の整備をして、それをバス路線の検討や防災施策に活用すると聞いたGISを用いた具体的な行政課題解決の事例を教えていただいたことにより、職員間でIT技術を活用した行政課題の解決方法と1つの施策から他の施策への展開方法が分かった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事例紹介と担当部署や(仮称) スマートシティ戦略策定のための意見交換が主な内容であり、アンケートは実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	(仮称) スマートシティ戦略を策定、2020年度から情報学部教員による課題解決型PBLがスタートして、産学官連携によるIT技術を活用した産業振興等の地域創生を目指す。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

